

長與專齋（松本） 蘭方醫。天保九年八月、二十八日肥前國生れ、明治二十五年九月八日歿（一八三一—一九〇二）。講兼、字兼繼。號松香、松香散人。安政元年緒方洪庵の適塾に入り五年塾頭となる。のち長崎でホーンペ、ボードウインの節事。明治元年長崎村醫學校塾頭等を経て四年文部省出仕、次で岩倉遣外使節に随行して六年歸國。文部省（のち内務省）醫務局長、東京醫學校校長、内務省初代衛生局長等歴任。この間中央衛生會會長、元老院議員、貴族院議員等も務めた。醫事衛生行政の創始者。病理學者長與又郎、實業家岩永裕吉、作家長與善郎等の父。著書「松香松志」全二冊（明治二十五年十一月十六日長與稱吉編刊）、（川）松本順介伝・長子専齋介伝（松本順介著・酒井シヅ校注、昭和五十五年九月十日平凡社「東洋文庫」）等。

